第721号　（第三種郵便物認可）　みいけ　昭和37年12月1日（土）（四）

みいけ主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2
三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033
・7140　炭鉱　474・528
※責任者　組織部長　渋田一恵

一体となって、政策転換斗争を
第十一回中央幹事会終る

日本炭婦協第十一回中央幹事会は十一月十日から三日間、炭労会館でひらきました。去る五月にひらかれてから半年、その間情勢は大きく変り、炭労は組織の命運をかけて政転斗争を斗っています。こういう情勢の中で炭婦協も、炭労の政転斗争をどう支え理解してゆくかや、物価値上げ、高校全入の問題など当面する困難な斗いの山積する中でひらかれました。

地方経過報告

地方経過報告の中では、政転斗争を中心に、組織強化のための学習会や民主教育を守るための他団体との交流、平和運動についての活発な取組みなどほとんど同じ運動が進められ、炭婦協としてはここにも統一した姿がみられました。

とくに北海道から「十勝太の米海軍ロランCの軍事基地反対斗争が北海道教育委員会主催の婦人大会の中で強引に北方領土返還の決議をさせようとする動きに反対し、事前にハボマイ漁村婦人と懇談しコンブ採取など生活権の問題の理解を深め、来年の地方選挙に利用しようとしている保守党の動きに対決して斗いをつづけている」と報告がされました。

また、長崎地方の飯野支部から、「フィラリヤ病（病源は蚊）が発生し、県衛生課と協力し検診の結果八〇名の保菌者が出て、このため退転者や借金が増え飯野の生協まで破産したことが報告されました。

地域で行動・情宣を

つづいて審議事項では

一、炭労の政転斗争については動員見送りや、地域情宣をさらに強くすすめる。

一、公共料金値上げ反対運動、消費者米価値上げ反対運動、高校全人民主教育を守る会など地域で他団体と統一行動を起してゆく。

一、軍事基地反対斗争、日韓会談反対斗争などすべての問題と結合させた中で理解させてゆく。

などのこんごの具体的行動をきめました。

玉名判決で激励電報

中央幹事会第一日目の十日は、三池では玉名公判で多くの主婦たちに判決のあった日です。判決の内容を知った幹事会では、早速つぎのような激励電報を三池主婦会におくりました。

一八名無罪、四名の一部無罪を勝とったことに心からお祝いの言葉をおくります。

なお、その他の有罪判決に対しては権力機構であることをバクロした裁判所に対して、激しい憤りを感じています。

検事控訴をハネ返しこんごとも一層団結を強め斗いをすすめられることを祈ります。

玉名判決を傍聴して

若葉分会　猿渡ハギヱ

十一月十日、玉名裁判所で緑が丘の組合員、主婦会員及び大谷、原万田、四山等の組合員、主婦会員の公判斗争が行なわれ、判決言渡しがありました。

超満員の傍聴席の片隅で、裁判官の言葉を一言残さず聞きのがすまいと、全神経を耳に集めていたが、私たちの威圧に恐れたのか？声が小さく、さっぱり聞こえない全く蚊の泣くような、かぼそき声で判決を言渡しました。

情状のしゃく量はしてもらい度くないが、公正な裁判をせよと、あれほど述べ続けてきたにもかかわらず、あの有様でした。

今日に至るまでの弁護団のご尽力、特別弁護人や法対部のご苦労ぐるみ斗ってこられた皆さん、本当にご苦労様でした。

十八名のムザイをかちとることができましたことは大きく評価されよろしいと思いますが、全員ムザイをかちとれなかったのは、まだまだ私たちの団結、努力が足りなかったかも知れません。

しかし資本主義国家の権力者といものは、被告の皆さんが述べられる言葉がよく判っていても、向からの首を守るため、このような結果を出さざるを得なかったものと思います。

被告という名をつけられて二年近く、あらゆる困難を克服し、いかなる苦しみや悲しみも踏み越て斗い続けられた苦労や努力、それはとうてい第三者の想像の及ばないものだと思います。ことに家族は大変なことでありましたろう。

こんごは場所を福岡へ移されるものと思いますが、有罪の人、ムザイの人を問はず、今まで頑張り続けられた気持をそのまま崩さず斗い続けなければなりません。

これはなぐつたから有罪、違法性がないからムザイでなく、分裂工作を法廷の中に持込んだものであり、弾圧です。だからこそ大衆行動したことに一部の人のみ有罪にして、一部の人だけ逮捕したものです。ムザイの言渡しをうけたからといつて手離しでは喜べないでしょう。同一行動に対して有罪ムザイの差別をつけることを考える必要はないでしょうか。

緑が丘のある主婦はご主人に先立れ、幼い子供さんをかかえてこんどの判決で有罪となりましたが一体この奥さんが何をしたというのでしょうか。

お互が慰め合い話し合いをするにも幼い子供相手でどうなるのですか。

皆さん、みんなの大いなる憤激を検察庁に、高裁にぶっつけましよう。心からの憤激を誰しも感ぜられたと思います。それをそのままぶっつけるのです。

頑張ろう、さらに頑張ろう。力を合せて頑張り抜いて弾圧をハネのけよう。

さいごに弁護団の諸先生、特別弁護人、法対部、執行部の皆さんに心からのお礼を申上ます。大変お世話様でございました。

被告の皆さん、ひと汗ふいたら私たちと一緒に頑張りましょうね

吹けばとぶような平岡判決
皆んなの力で無罪をとろう
生れは違っても三池の仲間
団結かわらぬおいらの気持
（王将替え歌）

十周年で茶話会
紡網の仲間も入り盛会

大谷

先日市民館で三池主婦会結成十周年の統一行事が盛大に行なわれましたが、私たち大谷分会では十一月三日（文化の日）第二次集会として茶話会をひらきました。

茶話会をひらくまでの経過として班長会議のなかでひとりの班長さんから「統一行事のとき写真をとりそこなったので、集会所でいくから写真をとりたい」と発言があり、別の班長さんが「折角写真をとるのに集るなら、文化祭をかねて何かしたらいい」と提案がありました。

早速役員会をひらき、地域分会に協力をたのみ、主婦会と地域の合同役員会がひらかれました。

さいきんみんなの集りがわるくて何かよい名案はないものかと思っていた私たち役員は、会員のこのような建設的な提案をとりあげていこうということになりました。

紡網のハーモニカ合唱団を呼んだらということになり、早速交渉し会場つくりは地域分会の役員の方々がしてくださいました。

三日はあいにくの雨でしたが、子供も話をきいて大勢集り、にぎやかになりました。胸に赤い花をつけた紡網の女工さんたちのハーモニカが、いろんなメロディーを奏でではじめました。

青年会も集りなごやかなふんいきもできました。ハーモニカ合唱が終り、飛び入りに移りましたら、一会員の方が元気よく出て民謡をうたいはじめると、みんな手拍子をとりました。次に主婦会の役員全員が三池の子守歌をうたいます青年会も出て元気よく吠えました最後に全員記念写真をとり、それからゆっくりお茶をのみ、せんべいをかじってたのしい茶話会を終りました。

より団結し、より前進するためにこの茶話会が少しでも役に立ったなら幸いだと思います。（大谷分会・大山シゲコ）

悔いない斗いを

多島会長挨拶

各山元にさまざまな困難な問題をかかえて、全国から集って下さった幹事の皆さま大変ご苦労さまです。

いま炭婦協は重大な時期に来ております。中央炭婦協としては、重大な政転斗争に取組むに当っての構えが十分であったとはいえません。

各山元ではそれぞれ皆さんが総力を挙げて支援体制をつくっておられると思います。四月六日の閣議決定では一応の希望をもったけれども、調査団の結論としては意外にきびしいものがありました。

政転を消化するためには、多額のカンパもしなければならないが、炭婦協としては悔いのない斗いをすすめてゆきたいと思います。

主婦会日誌

11月17日　九州活動者会議傍聴及び歓迎演芸
19日　原水爆禁止協議会大牟田市幹事会、総評主婦の会熊本県役員と熊本労金との懇談会（熊本市で）
20日　内転者全員集合、本部会議、福岡一部公判傍聴（22日まで）
21日　支部長会議
22日　中央執行委員会、大牟田労金と主婦会役員座談会　大牟田市母親連絡協議会
23日　大牟田革商連と組合厚生部、主婦会生活部長と懇談会
24日　第六回中央評議員会（九炭労で）
26日　福炭婦協評議員会（九炭労で）、大牟田市総合婦人会
27日　政転斗争大牟田地区座り込み及び激励行動（28日迄）
28日　婦人、主婦による対自治体行動（30名福岡県庁）
29日　大牟田市母親連絡協議会
30日　主婦会員裁判判決確定者との意志統一激励座談会
12月1日　転場激励（各支部毎）

座り込み探訪記

四山　富永一枝

十一月二十七日、政転斗争現地座り込みに対する激励団の方々に、感想を聴くため、三川支部浜田組織部長と探訪しました。

十一時すぎ、三川支部の主婦三十名と一緒に、大牟田駅前と采町の二カ所の座り込みを激励して回りました。この日空は青く晴れ、太陽は暖かでしたが、冷たい風がピューと吹き抜ける日でした。けれども激励する人も激励される人も決意は同じ、何も言はなくても意志は通じているのです。

早速、激励にこられた人たちに感想を聞いてみることにしました。

Aさん　私はいつも晴ればれとした気持でいますが、このような行動をすればよくに晴ればれとした気持になります。

Bさん　私は内転に行っていますが、このような激励にはまっ先に参加したいと思って今日は内転を休んできました。

Cさん　ビラ配りですが、以前はもらったビラをすぐ捨ててしまう人がありましたが、今日はそのような人がなく、皆心よくもらって下さったので本当にうれしかった。

D分会長は　皆このような激励には行きたいという気持はあるが内転などで出られない人もあるので、割当人員には足りなかったけれども強制はしなかった。できる人だけで来ました。

ともいっておられました。

座り込みの方にも感想を聞いてみました。ある人はこんなふうに言っておられました。

自分たちは炭鉱だけでなくあらゆる産業にかけられた賃下げ、首切り、失対打切り、物価値上げなどに抗議し、高校全入などいろんな要求をかちとるために座り込みをすることで、市民に「何のために座り込みをしているのだろうか」と関心を向けさせるだけでも大変効果があると思います。

といっておられました。

座り込みの中には、組織労働者ばかりでなく、母連協からも参加しておられたのは、何といっても政転斗争の意義が、一般の方々にも理解されはじめているのを物語っているのではなかろうか、そう感じて私たちの探訪を終りました。

映画「三池」が入賞

外電によれば、さいきん東ドイツのライプチヒで開かれた第五回国際記録映画祭で、三池斗争の記録映画「三池」が、東ドイツ労働組合賞を得たということです。